

さくがわ・たかゆき

2021年9月、浦添市前田にさくがわクリニックを開院。モヤモヤ血管が原因で起こる長引く痛みで悩む患者さんに運動器力テーゼル治療・動注治療を提供。放射線診断専門医。IVR(画像下治療)専門医・指導医。運動器力テーゼル治療研究会・監事。



長引く痛みはなぜ起こる?

～新治療 さくがわクリニックのカテーテル治療～

文・佐久川 貴行(さくがわクリニック院長)

(第3週に掲載)

長引く痛みでお悩みの患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供する、浦添市前田のさくがわクリニック院長が、さまざまな疾患とその治療法について解説します。

動注治療は片手、片足のみであれば5分程度で治療できます。採血のように手軽にできる治療法であり、注射針も極細のため、痛みを感じることはほとんどありません。治療後は注射針を抜き、3分間の圧迫だけで止血で

入院不要すぐ帰宅可能

さくがわクリニックでは肩や膝などに生じる長引く痛みに対し、主に運動器カテーテル治療を提供しています。今回はその一つ、手指や足の長引く痛みに対する「動注治療」を紹介します。

人の血管には動脈と静脈があり、心臓から全身に血液を送り出すのが動脈で、全身から心臓に戻ってくるのが静脈です。一般的に採血や点滴で使われるのは静脈で、皮下に青白く見えます。動脈は脈を感じることができる血管で、主に血圧を測る時に用いられます。当院が治療対象としているモヤモヤ血管は動脈に生じるため、動脈に注射治療を行います。これを略したのが「動注治療」です。

動注治療では、手首、肘、足首などの動脈の中に、極細の注射針を入れます。そこから治療薬を注入すると、血液の流れに乗って、指先や足先の痛い所に生じたモヤモヤ血管に作用し、痛みを軽減させることができます。

入院不要すぐ帰宅可能

膝などに生じる長引く痛みに対し、主に運動器力テー・テル治療を提供しています。今回はその一つ、手指や足の長引く痛みに対する「動注治療」を紹介します。

採血のよつて手軽にできる治療法

手指や足への「動注治療」について

血液サラサラの薬を飲んでいき
る方でも、容易に止血できるた
め、内服を続けたまま治療がで
きます。治療後、注射した所に皮
下出血（青あざ）ができることは
あります。が、2～3週間で自然
に消え、跡も残りません。また、
当院では動脈の位置を超音波で
確認しながら注射するため、普
段から血管が細くて採血が難し
いと言われる方でも問題なく治
療を受けることができます。治
療後の日常生活はいつも通りで
構いません。



軽く③低コストで治療できます。運動器カテーテル治療と同じ薬を使うため、治療効果は同程度に期待できます。治療対象は、ヘバーデン結節、CM関節症、腱鞘炎、TFCC損傷、足底腱膜炎、外反母趾、変形性足関節症、繰り返す痛風発作などがあります。

様々な治療を受けても痛みが改善せず、生活に支障を来している方は少なくありません。長引く痛みは精神的にも負担になります。痛みと付き合っていくしかないと説明され、治療を諦めている方もいます。3か月以上続く長引く痛みに対する治療の選択肢の一つになればと願つ

※動注治療は、オクノクリー（表参道・銀座・横浜）の奥野祐次総院長が2014年に開発された治療で、年間4千件の治療実績があります。

長引く痛みの 治療選択肢の一 つ

現状、手や足など治療部位は限られていますが、日帰り手術で行う運動器カテーテル治療と比べ①入院不要（初診30分／治療5～10分）②体への負担がより

